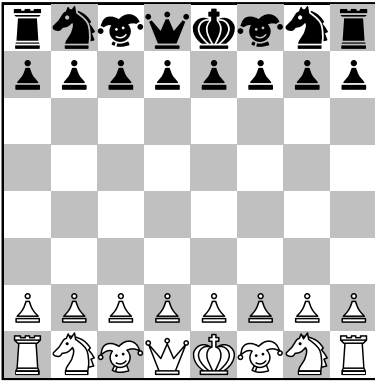


Chapitre 1

チェス盤から駒達の踊り 38

1. えぼりんぼキング 42
 2. 気が強いクイーン 45
 3. 頑固なルーク 51
 4. キングがお城を飛び越える時 61
 5. 鋭いビショップ、悪戯ナイト 66
 6. 哲学のポーン！ 78
 7. ゲームの読み方と書き方 93
- 遊びチェックメイト 112





チェス盤から駒達の踊り

チェスゲームは今でも世界中で親しまれています。ヨーロッパはもちろん、アメリカでは北も南も同じくらい才能のあるプレイヤーがいますし、北アフリカではシャトランジールの長い伝統があります。

スラブ語圏諸国の中ではロシア人が半世紀以来世界の最強の地位を保っています。トルコからインドネシアを通してフィリピンまでの東南アジアも同じです。現代の名プレイヤーの二人、Garry KASPAROV カスパロフ（1964～）とその弟子、Vladimir KRAMNIK クラムニック（1975～）はカスピ海のそばにあるバクーとトゥパサで生まれました。インドには世界ランキングの2位のANAND アナンド（1969～）もいます。

中国は25年前から世界選手権に参加するようになりました。たった25年間だけで世界のトッププレイヤーを何人も輩出しています。しかしながら、日本ではいまだに質のよいゲームセットを買うのは容易ではありませんし、たとえ見つかったとしても、おそらく駒の置き方に驚くことでしょう。一般的に店のオーナーは駒の置き方の基本的なルールを知らないようです。日本においてチェスの理解が遅れている意味を考えこんでしまうこともあります。

よくある第一のミスはチェスボードの置き方です。プレイヤーの右手側手前が白マスになるように置かれなければなりません。

8×8=64 マスのチェスボード上では将棋のように中心にあるのが1マスではなく4マスです。

中心にある4つの白黒マスの対角線の延長線上に位置する4つの角マスは常に中心と同じ色です。ですから、中心の4マスの色が白黒交互であるようにチェスボードの4角マスの色は白黒交互です。

相対する二人のチェスプレイヤーは白駒、黒駒サイドとも各自チェスボード右角のマスの色は白でなければいけません。そこに白または黒駒を横に2列合計16駒並べます。

この陳列をしたオーナーは間違えて逆のルールを学んだという訳でもない様です。彼にとってチェスボードの配置はたいした意味がなかったのでしょう。二回に一回は正しい配置をしているのを見たいと思っていましたが、それもありませんでした。この無自覚さにながかりし、私は彼が置く駒が偶然でもオリジナルなオープニングの発見を可能にしてくれるのではと期待しました。

駒の配置と新しい発想と言うことで思い出すのは今世紀の偉大なプレイヤーのアメリカ人、**Robert James FISCHER** フィッシャー(1943～)です。彼はチェス駒の並べ方やルールに従来にはなかったプレイヤーの自由を認めるように提案したことがあります。旧ソビエト陣の堅固な定跡の理論武装を崩すことが目的だったのかもしれませんが。この方法は「ランダムチェス」と呼ばれオリジナルで気晴ら



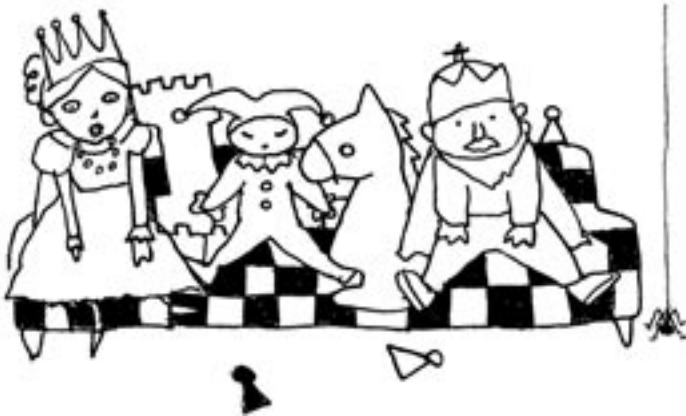
しにはなりますが、これを使ったプレーヤーたちは千年以上の歴史があるノーマルなチェスの配置には、結局の所より豊かな可能性があることを認めました。駒にはつまり正しく置かれるべき場所があるのです。

店で見かける駒の形はイギリスの初代チャンピオンの **Howard STAUNTON** ストーントン (1810～1874) が発案しました。彼は **Charles Fournier de St AMANT** ド・サン・タマンという **Louis Charles de LABOURDONNAIS** ド・ラ・ボールドネ (1795～1840) の弟子と対戦し、フランス宮廷音楽家フィリドールによって半世紀以上築き上げられたフランスの優位に終止符を打ったのです。

国民的英雄となったストーントンはその才能とイギリス政治の影響を、彼が作ったチェスの駒の商業化に利用しました。駒の持つ象徴的な意味を保ちつつ、シンプルなデザイン性を持つ彼の駒は今ではスタンダード・チェス駒として世界中に普及してほとんどすべての国際試合に使用されています。ストーントン駒のデザインは強い駒ほど背が高く、劇場（盤上）での役回りの重要性を象徴しているようです。唯一の例外はルークです。ルークはポーンよりずっと強力なのですが、背の高さはあまり変わりません。整列の美しさという点ではキングとクイーンを中心に端に向かってなだらかに傾斜する一列目は大変統率が取れていて見た目にも気持ちよいですが、その両端に位置するルークが背が低いのもパレードのために必要なかもしれません。イギリス人の合理的精神が象徴主義に勝ったのでしょうか。一列目中心に位置するのは真珠をちりばめた冠のクイーンと、キングです。一列目中心2マスのうち黒クイーンなら黒マス上に、白クイーンなら白マス上にクイーンを置きます。もう片方のマスが王の座です。王家の象徴である王冠上の十字架が彼の連れ合いより背が高く見えることを保証しています。まあその辺の秘め

られた意味は心理学者に任せましょう。中心から端に向かって低くなっていることを覚えておいて下さい。キングとクイーンの横はビショップ、その次はナイトで最後はルークですね。2列目に並べる8つのポーンは後で説明しますが、独特な役割を担っています。

さて、先程のお店に戻りましょう。この店ではクイーンとキングが両端に置かれ、他の駒の位置もごちゃ混ぜになっていました。しかしフランス風の皮肉はやめましょう。チェスがまだ活発とは言えないこの国で、ショーウィンドウにチェスセットを並べる気概のあるこの店の責任者の趣味の良さを確認するのは楽しいことでもありました。私はこの機会を利用して彼にチェスの駒の正しい配置を教えることにしました。



1. えぼりんぼキング

記号：K



「王様は亡くなられた、王様万歳！」はチェスのプレーヤーにはあまりお気に入りの表現ではないでしょう。というのは、キングの死はつまり試合に負けたということを意味するからです。

王位継承はありません。それ故ゲームの目的は敵の駒をすべてとることではなく、たった一つの駒、キングを取ることにあります。一方の陣地の駒数が優勢であっても相手側に軍配が上がることもあります。

ゲームの目的は敵のキングを取ることですが、もちろん同時に味方の君主の安全にもよく注意しなければいけません。キングは一マスずつしか進めませんがどの方向にも行けます。キングはとても動きの遅い駒です、それがこの駒の最大の弱点です。(ポーンでさえも最初の動きはもっと速いです)。ゲームが落ち着いてきてから(例えば沢山の駒がとったりとられたりチェス盤から消えたとき、キングは本当に活動的な駒になります。*) 全方向に動けるキングは、彼の恐るべき伴侶、クイーンと同じ位自由になるのです。

(*) 将棋とは違い取った駒は使えません！

エピソード1:

私がまだ学生でパリにいたころ、そのとき既に結婚していたのですが、私の日本人の妻と韓国人の友人がチェスをしていました。全体的に二人は目標をうまく配置していて、二人の初心者ですばらしいゲームを前にして私は寛大でした。もし戦略的な失敗が多くあっても、このゲームは私の国のものでした。初めて文化的な移行を実現させたことを私は誇りをもって、かみしめました。

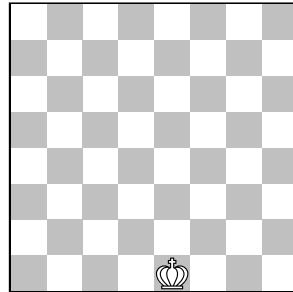
一時間後、私は二人の婦人のためにお茶を用意しました。私が戻ってくると、チェスボードの上には二つのキングしか残っていませんでした。「試合は激しかったのでしょうか」と私は笑いながら話しました。しかし二人とも困惑し、まだあきらめていない様子で見ているので、それ以上は言いませんでした。

一つのキングがもう一方のキングを追い、そして後退しているのです。面白くなって、私は韓国の友人が貸してくれた本を読みつつ、二人のアマゾネスが戦闘的な熱を冷ますのを待っていました。しかし試合は続いたのです。夜遅くになって、「で、どうやってこういうところから勝てるんだい？」と言いながらゲームに入っていました。「一つの王がもう一方の王を脅かすには近づかないとけないが、そうすると自分が取られてしまうよ」。長い戦いに疲れた二人はしばらく呆然としていましたが、「じゃあ、どっちが勝ち？」と言ってきました。「どちらでもないよ。勝者も敗者もないよ。このポジションなら引き分けだ」と答えました。この結果にほっとして彼女たちは笑顔になりました。緊張がとけたところで、私はさめたお茶を温めなおしました。

練習問題 1：

キングが向こう側の角マスに行き着くためには最低限何手必要でしょうか？

答え：常に 7 手

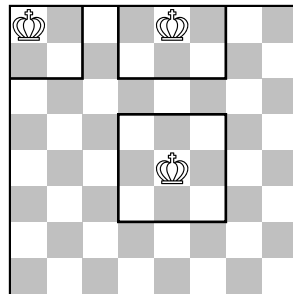


練習問題 2：

キングがチェス盤の角、端、真ん中にいるときにはそれぞれ可能な動きはいくつありますか？

答え：角では3つのマス、端にいるときは5つ、真ん中にいるときは8つあります。

と言うのはすべてのマスを抑えるには角よりも中央が難しいです。一見安全に見える角よりも、場合より中央はチェックメイトになりづらい。



2. 気が強いクイーン

記号：Q



キングはもっとも大切な駒ですが、クイーンはチェスのゲームにおいて断然最強の駒です。クイーンは、横でも縦でも斜めでも好きな距離だけ進めます。

中央の4つのマスのうちの1つにいるときは、何と27マスもコントロールしていることになります。チェス盤のほぼ半分です。クイーンがチェス盤上でデビューしたのはルネサンスの時です。それまでは女性の駒は明白に存在していませんでした。クイーンは恐ろしさと自由の象徴のような気がします。この最強の駒にクイーンを象徴させたのはなぜだったのか... 色々な説があるようです。

エピソード2：

何年か前のTVで気になってしかたがないCMがありました。人気歌手グループの若い男性が侍の格好をしています。月代を剃っていないので幕末の志士といった設定なのでしょうか？

彼は背筋を伸ばして森の中で握り飯を行儀良く食べています。そしてCMの商品であるお茶をまさに今飲もうとします。と、その時、彼を呼ぶ声がします。若き侍はまさに現代そのものの軽さで、「はー